

2018

JULY 7 vol.44

東京成徳広報



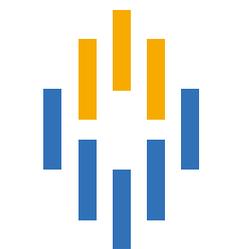
東京キャンパスに完成した6号館グローバルセンター (©FOTOTECA)



学校法人 東京成徳学園

C O N T E N T S

P 3	巻頭言「高等教育の取組み」 東京成徳学園理事長 木内 秀樹
P 4	大学改革 キャンパス整備・移転（整備経過 6号館竣工・概要 健康・スポーツ心理学科の移転） 学部改組（国際学部スタート） 学生募集
P 8	学園の動き 学園人事 新任教職員辞令交付式 訃報 國分学術顧問 採用・退職・異動
P 10	学園の動き 平成29年度事業の概要
P 11	学園の動き 平成30年度事業計画
P 12	ひと 活躍する卒業生 練馬福祉園 児童発達支援事業 えとわる 橋爪 ななほさん
P 13	進路 大学・短期大学就職 高等学校進学
P 15	TOPICS 大学院 応用心理学部（臨床心理学科 福祉心理学科 健康・スポーツ心理学科） 子ども学部 経営学部 人文学部（日本伝統文化学科 国際言語文化学科） 短期大学幼児教育科 中高一貫部 高等部 深谷高等学校 深谷中学高校一貫コース 幼稚園 学園後援会
P 23	クラブ活動
P 24	入試情報・お問い合わせ先



TOKYO SEITOKU

学園シンボルマーク
イエローは「活力」と「勇気」を表し、
三本の柱は学生・生徒・園児、教職員、
同窓生を象徴しています。
ブルーは「理想」と「若さ」を表し、五
本の柱は五つの教育目標を象徴していま
す。
そして、八本の柱が一体となり、東京成
徳学園とその学園に集う人々のヒューマ
ニティを作り上げる姿を表現しています。

表紙 東京キャンパスに完成した6号館グローバルセンター

東京成徳ビジョン100で目指す「『成徳』の精神を持つグローバル人材の育成」を図ります。



「高等教育の取組み」

東京成徳学園理事長 木内 秀樹

一、2018年問題

皆さんは「2018年問題」をご存知だろうか。「不動産の2018年問題」や「教育の2018年問題」など様々な分野で、2018年以降日本の社会は大きな課題を抱えている。

不動産に関しては、新築ラッシュであったオフィスビルやマンションが供給過剰になることと、生産緑地法により東京ドーム1650個分の土地が放出され首都圏で土地余りになることが予測されている。そのため不動産売却のタイミングは2018年迄、購入のタイミングは2022年以降と言われているらしい。

教育に関しては、18歳人口が2018年を用途に減少期に入り、大学の倒産や学生獲得競争が過熱することである。

これらはいずれも日本の少子化現象による影響であるが、時限的なものではなく、未だ少子化の底が見えないことが、更に不安な気持ちにさせられる。

二、大学改革と中教審

18歳人口は、戦後「団塊世代」が18歳を迎えた1966年に249万人とピークになり、その後「団塊ジュニア」が18歳を迎えた1992年には205万人を保っていた。しかし、日本の人口がピークとなった2008年（1億2800万人）の翌年には、121万人にまで減少し、2018年頃から再び減少傾向が強まるとされている。

中教審の将来構想部会は、2040年の大学進学者数を18歳人口が88万人と減少するのに加え、進学率は急上昇が望めないとして、現在の60万人から51万人に減るとはじき出した。既に私立大の四割が定員割れしており、経済界からは多すぎる大学の整理が必要との指摘が出ている。本年6月26日付朝刊各紙に「日本の大学の将来像」に関する記事が、中教審の中間まとめとして掲載された。大学閉学を見越した文科省の提案といったところであろうか。それによると、大学同士による連携・統合を

しやすくするために三つのパターンを提示するとともに、各大学に「養成する人材像」の明確化を求めている。

三つのパターンとは、①国立私立大の枠を超えた「大学等連携推進法人」を作り、事務局統合や単位互換などの規制緩和をする、②国立大同士が

法人統合し新国立大法入をつくる、③私立大学の学部譲渡を認める、であるが、①と③は定員割れが深刻になつている地方の私大などを想定しているといわれている。また、現在約七八〇校ある大学がどのような役割や機能があるか分かりづらいついて、「養成する人材像」を明確化するよう求め、①世界を牽引する人材、②高度な教養と専門性を備えた人材、③高い実務能力を備えた人材と、三つのタイプを提示している。

そして、東京極集中の是正と地方大学の振興を目的とし、東京23区における私立大学等の定員抑制の観点から、学科の新設や収容定員の申請を認めない省令を本年2月に施行した。現在は許可事項となっていないキャンパス移転等による東京23区の定員増も含めて抑制の対象とすべきとの方針も示された。

三、本学の対応

本学では、数年前から東京と千葉

にある二つのキャンパスの活用と定員割れの学科についての改善策を検討してきたが、前述の国の動きもあり早急な決断が必要となった。教授会・大学運営委員会・理事会でも審議され次のような改革が実行されることになった。

一、2016年

- ・臨床心理学科の東京移転

二、2018年

- ・福祉心理学科の募集停止と臨床心理学科への定員の振替
- ・人文学部の東京移転と2019年より国際学部への改組転換

三、2020年

- ・健康・スポーツ心理学科の東京移転

その間、これらの学生を受け入れる施設として新校舎が本年4月に竣工した。新校舎は「国際学部」の学生の利用が主となるが、4学部5学科の学生たちが集うコミュニケーションの場になるよう設計されている。

本年4月、芝公園メルパルクで行われた大学・短大の入学式では、801名の入学生を迎えられたことは大学全体の取り組みが実を結んだ結果であり大変喜ばしいことであった。

数年後には約三千人規模のキャンパスとなるが、それぞれの学部学科が明確な特徴を持ちつつ他学部の学びもつながらることを目指していきたい。

大学改革（キャンパス整備・移転）

大学・短期大学施設課

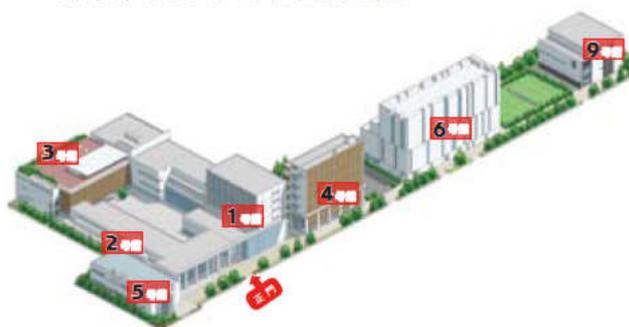
東京キャンパス（十条）整備経過

東京キャンパス（十条）は、1965年に開学した短期大学が校地校舎として利用したのが始まりです。

1979年及び1994年に隣接地、合計1.3万㎡が取得できたことから、設計会社に依頼してフィージビリティスタディを行い、キャンパス内の建物配置や総建築面積などの将来計画を策定しました。その上で、まず2002年に、新たに取得した土地に現在の1・2号館を新築し、2015年に、旧校舎を建替えて3・4・9号館を建築しました。さらに、本年4月に、6号館グローバルセンターが完成となりました。また、本年度、新たな教育ニーズに対応するため、ラーニングコモンズの設置などを行う図書館の大規模改修工事を実施した他、夏休み中に食堂のリニューアル工事も計画しています。

これにより、永年にわたって進めてきた、東京キャンパス（十条）の整備が完了することになりました。

東京キャンパス（十条）鳥瞰図



キャンパス整備に合わせて、学科の充実も図ってきました。2002年に、いわゆる「工場等制限法」の廃止により都市部（東京の場合は23区と特定の市）での大学の増設が可能となったこともあり、学園は、本キャンパスで、2004年に子ども学部を、2009年に経営学部を設置しました。

一方、2016年から応用心理学部臨床心理学及び大学院を、また、

2018年から人文学部を、年次進行によりキャンパス移転をします。今後2020年から応用心理学部健康・スポーツ心理学科も年次進行での移転を計画しており、この移転の終了を以って、高等教育の東京キャンパスへの集約が完結することになります。

学園が、こうした改革を推進してきたのは、今後一層厳しくなる大学の環境の中で、教育研究面、学生の利便性、学生募集、施設や人材活用の効率性などさまざまな観点から検討を重ねた結果、大学の東京キャンパスへの集約が不可欠であるとの結論に至ったことによります。

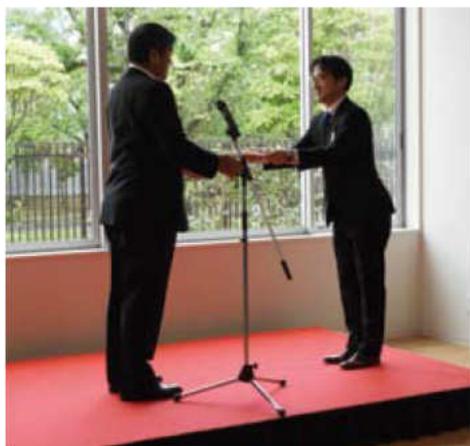
6号館グローバルセンターの竣工

昨年5月に着工した6号館グローバルセンターが本年4月に完成しました。4月27日、当館グローバルセンターで設計施工に携わった清水建設株式会社や協力会社等を招いて竣工式が行われました。

式典では、木内理事長より挨拶が行われた後、清水建設株式会社の設計本部チームと現場工事チーム（現場事務所）に対して感謝状の贈呈が行われました。

この2チームは、着工当初から完

成引き渡しまでの間、理事長を含めた学園関係者と20回を超える綿密な定例会議を重ね、その都度、本学の要望に対して修正を行いながら工事を推進しました。工事期間中には、さまざまな障害も発生しました。昨夏のゲリラ豪雨時には、前日に施工した生コンの品質が落ちないように、ずぶ濡れになって広大なフロアをブルーシートで覆い大雨からコンクリートを守りました。また、今年1月22日の大雪時には、前日の日曜日に降った大雪を除雪するため、内装工事や電気工事に携わる全ての現場作業員が一丸となって、屋上に積もった大雪を機材搬入用のクレーン車まで出動させ除雪にあたるなど、ハードルを一つ一つ乗り越え、工期の遵守に努めていただきました。



6号館グローバルセンターの概要

完成した建物は、地上6階RC造、延床面積6,973.42㎡と、十条キャンパス内で最大の規模の建物となります。主な用途は、1階がグローバルラウンジ・ゼミ室・大教室、2～4階が大小の教室、5～6階が教員研究室・小教室です。この建物の特長的な部分をご紹介します。

【グローバルラウンジ】

この建物を象徴するのが、グローバルラウンジです。1階のエントランスに面した開放的なスペースで、学生交流の核となるよう工夫しました。4K型4面マルチディスプレイや大型プロジェクター等のAV設



備を整備し、英会話学習やアクティブラーニング、ケイタリングを利用した各種パーティーなど、多目的な利用ができる仕様になっています。

【オープンスペース】

各フロアのエレベーターまわりにあるオープンスペースは学生が自由に交流できる場です。授業前のちよつとした打合せ、レポートの確認、討論やブレインストーミングなどの場として、ホワイトボードがわりに使えるガラス壁や掲示可能なブルテンボード壁を使い、どこでも活発な議論が可能です。

【化粧室】

女子学生の要望に応じて、パウダークォーター付きの化粧室としました。また、男性用を含め、温水便座などはもちろん、入口近くに姿見の設置など、見学された方から大学としては洗練されているとの評価もいただいています。



健康・スポーツ心理学科の東京キャンパスへの移転

応用心理学部健康・スポーツ心理学科は、2020年度入学生から東京キャンパス（十条）に移転し、2019年度入学生が3年次を終了する2021年度末には学科全体が東京キャンパスへの移転を完了することになりました。従いまして、2019年度入学生は、1年次から3年次までを千葉キャンパス（八千代）で、4年次を東京キャンパスで過ごすこととなります。

学園は、2016年度より学部学科の東京キャンパスへの集約を漸次進めて参りました。これが進捗することによって、最後に残された健康・スポーツ心理学科の学生が適切な環境の中で学生生活を送ることが難しくなるので、同学科につきましても、前記のとおり移転を開始する運びとなりました。

なお、千葉キャンパスにつきましては、緑あふれる敷地、人工芝サッカーグラウンド・ゴルフ練習場・テニスコート・野球場・バスケットコートなど充実したスポーツ施設、教室、図書館をどのように活かして教育研究を行うか、今後十分検討していく計画です。

大学改革（学部改組）

来年4月 国際学部スタート

開設準備委員会委員長 岡本和彦

2019年4月、現在の人文学部は改組し、新たに「国際学部」として生まれ変わります。

国際学部の使命は、「グローバル時代にふさわしい多様な価値観を理解し、グローバルな視点に立ち世界の国や地域の人々と協働できる幅広い知識とコミュニケーションスキルを持ち、それらを活用してライフスタイルや仕事などの新しい価値を創造することができる課題発見・解決力をもった、未来を切り開くグローバル人材を育成する」ことにあります。まさに本学が掲げる**東京成徳ビジョン100**のうたう「成徳」の精神を持つグローバル人材の育成」を実現するために設立される学部と言えます。

ここでは、国際学部の学びの特徴について、紹介していきます。

(1) 全員必修の早期・長期留学制度

新しい国際学部の学びにおける最大の目玉は、1年後期から2年前期にかけての約1年間のアメリカまたは韓国への留学が全員必修であるこ

とです。

これまで人文学部では多くの海外留学挑戦者を輩出してきましたが、同時に海外留学に行きたいと思いがらも、いくつかの心配ために結局海外留学をあきらめるというケースもありました。その心配とは、①留学資金、②保護者の説得・承認、③就職活動への影響、です。これらが複合的に重なり、結局時機を逸して断念するに至るといっわけです。

例えば、お金を貯めようとアルバイトに励みようやく資金がたまったのが3年後期で、就職活動が始まる時期となり、出遅れてしまうのではないかと不安になり留学を断念するケース。あるいは、入学当初にあった英語学習や留学へのモチベーションがだんだん下がっていくケース。保護者が最初は応援すると言っていたが、実際にかかる金額を聞いてそんなには支援できないとなったり、現地での生活への心配（治安や国際情勢）から留学に反対したり、やはり就活に影響するのではと反対するケースもあります。

国際学部の全員必修の早期・長期留学は、これらの不安をあらかじめ

取り除いたプログラムであると言えます。第一に、本学部を受験するということは、受験生と保護者は、留学が必修であり、そして留学費用を含む4年間トータルの学費をしっかりと把握し了解の上で受験することになります。そのため資金と保護者の説得の点で不安になる要素がありません。第二に、留学時期が1年後期から2年前期までなので、帰国後にしっかりと大学の授業を履修し、幅広い知識と教養を身につけ、さらに語学力を磨いて検定試験のスコアを上げてから就職活動に臨むので、不安どころか自信をもって就職活動を行えるプログラムとなっています。

第三に、留学中の生活についても、ベネッセ、ベルリッツをはじめとした提携企業とともに、現地での適切な学習・生活環境の確保、危機管理に対応する24時間ヘルプデスクの設置など、安心して留学してもらえ、仕組みを整えています。

入学してすぐに留学に行くということは、留学へのモチベーションがあり、かつ頭が柔軟な時期に海外体験ができるということであり、実際に異文化体験をし、カルチャーショックを受けながらもしっかりと学んで帰国できれば、語学力の向上のみならず、視野を広げ、豊かな国際感覚を

身につけ、さらに1年間の留学をやり切ったという自信を持つことができます。早い段階でこの経験をすることで、将来の進路に向けてより積極的に行動していく時間を大学3・4年の時期に確保することができ、のです。

留学先はアメリカまたは韓国になります。人文学部の学びの強みでもあった韓国留学はそのまま活かして、広く東アジアを学ぶこともできる仕組みを取りました。しかし、留学先が韓国であっても英語の修得は必須で、1年前期に英語の必修科目があり、韓国でも英語科目を履修して単位を取ることが求められます。グローバル人材として英語の修得は不可欠であると考えます。

留学先では、まずは語学学校で英語・韓国語を磨き、一定レベルに到達すると現地のコミュニケーションまたは大学の授業を履修できるようにします。アメリカの場合、ベルリッツと提携したELSという語学学校で学びます。場所はアメリカ西海岸の3か所、カリフォルニア州サンタローザ、オレゴン州ポートランド、ワシントン州シアトルです。韓国はソウルとその近郊都市にあるキョンヒ大学、ガチョン大学です。



アメリカ留学先の一つ シアトル

(2)ベルリッツ・メソッドを活用した英語力向上プログラム
 実践的な英語力を向上させるためベルリッツと提携し、正課及び正課外の両方でベルリッツ・メソッドを用いて英語力を磨きます。完成した新校舎6号館には1階にグローバルラウンジが作られました。ここを活用して、正課外でもベルリッツのネイティブスピーカー講師が常駐し、英会話レッスンを受けることができます。留学前の1年前期だけで正課・正課外合わせて180時間以上の語学学習時間を確保した集中プログラムで準備し、帰国後はプレゼンテーションやディスカッション、通訳等の実践的な授業で磨きをかけ、さらに検定試験対策も行い、TOEIC 800点、TOPIK 5級取得を目指します。



国際学部 充実の4年間

(3)カリキュラムと将来の進路
 「日本を知り、世界を知るカリキュラム」として、自文化・多文化・国際関係の理解という観点から、「国際関係・地域研究」、「国際文化・国際教養」、「国際コミュニケーション」の各区分からなるバラエティに富んだ専門科目が多数用意されています。そして卒業後は、①グローバルに展開する企業（外資系、多国籍企業等）、②国際機関や国際協力NGO、③国際交流部署の人材を求めめる自治体、④情報・メディア産業で活躍する人材を育成します。また、日本語教員資格を取ってさまざまな教育機関で活躍する道もあります。新生「国際学部」の船出を何卒温かく見守っていただければ幸いです。

大学改革（学生募集）

全学部全学科で定員充足

大学と短期大学の2018年度入学者は、全学部全学科で、入学定員を上回りました。従来、定員が未充足であった人文学部や経営学部でも改善が図られました。

これは、①人文学部で今年度入学者から東京キャンパス（十条）に移転したこと、②応用心理学部福祉心理学科の募集を停止し臨床心理学科に定員を振替えたこと、③経営学部で経営学の基本的な科目に加えてより実践的な科目（ファッショビジネス・エンターテインメントビジネス、観光ビジネス等）を充実させたことなどに加え、④オープンキャンパスの運営方法・ホームページや広告の内容等広報戦略の見直しなど、学園のこれまで進めてきた改革が奏効したものと想われます。

しかし、学生募集が順調であったのは、大学の努力だけでなく、行政による大学入学定員管理の厳格化による側面も否めませんので、引き続き改革を継続していく計画です。2019年度には、人文学部を改組して、国際学部を設置し、2020年度には、応用心理学部健康・スポー

高等教育の学生募集状況

学部	2017年度入学			2018年度入学			入学者前年度比
	定員	入学者	充足率	定員	入学者	充足率	
人文学部	80	67	84%	80	97	121%	145%
応用心理学部	170	182	107%	172	189	110%	104%
子ども学部	140	151	108%	140	147	105%	97%
経営学部	140	132	94%	140	153	109%	116%
大学合計	530	532	100%	532	586	110%	110%
短期大学	180	159	88%	180	194	108%	122%

（単位：人）
 ツ心理学科を入学生から東京キャンパスに移転します。施設面でも、2018年度に、新校舎の6号館にグローバルラウンジを、また、図書館を改修してラーニングコモンズを設けるとともに、食堂のリニューアルも行うなど、学生の教育や福利厚生への充実に資するよう注力していきます。

学園人事

2018年2月～4月

新任教職員辞令交付式

4月2日(月)、法人本部会議室において、平成30年度学校法人東京成徳学園新任教職員辞令交付式が行われました。大学から幼稚園まで新たに学園に採用された28人に対し、理事長より一人ひとりに辞令が手渡されました。

理事長挨拶、学園側出席の役職者紹介、新任教職員による自己紹介と抱負発表、大学長の激励の挨拶が行われ、閉式となりました。今年度は、東京成徳ビジョン100で「成徳の精神を持つグローバル人材の育成」を将来像として掲げて注力しているため、英国・米国・豪州・韓国など7人の外国人の先生が新たに加わり、国際色豊かな式となりました。

次いで行われた研修会では、最初に理事長から、建学の精神・私立学校の現状と学園の方針などの講話があつた後、高等教育部門とその他部門に分かれて研修が行われました。高等教育部門は、新井大学長から、本学の歴史と教育理念・取組方針などの講話がありました。また、中等教育部門と幼児教育部門は、法人本部から学園組織・東京成徳ビ

ジョン100と中期事業計画・就業規則等諸規程などの説明やグループ討議などが実施されました。



國分康孝学術顧問 逝去

平成30年4月19日、國分康孝先生が逝去されました。先生は、筑波大学を定年退官後、平成12年に本学に設置された臨床心理学科の初代学長・教授として就任、人文学部長、副学長の他、学園理事や評議員を歴任され、大学及び学園の発展を牽引いただきました。平成23年4月から学園学術顧問として引き続きご指導いただきました。



國分康孝学術顧問を悼む

東京成徳大学長 新井 邦二郎
本学園に尽力された國分康孝先生が臍臓ガンのため永眠された。87歳。先生は、95歳まで頑張ると常々、公言されていた。3月の末に病気が発見され入院した後でも比較的元気気で、退院した後には久子夫人と一緒に過ごす施設を探しておられた。また5月20日には、都内のホテルにて同年齢の夫人と共に「米寿の祝賀」が盛大に行なわれる予定であ

り、誰もが、病気の急変に驚いた。

ご葬儀は、ご自宅のある松戸市内の会場で行なわれ、理事長、学園長、本学園関係者を含め多くの参列者が故人を偲び、お見送りを行なつた。後日、ご遺族が学園本部を訪れ理事長に謝意が申し述べられた。

先生は「大和魂が星条旗の背広を着ているような人」と、ある人から評され、それを喜んで受け入れていた。陸軍幼年学校で教えを受けた礼儀正しさやリーダーシップ、米国ミシガン州立大学で博士号を取得するなかで身につけた合理主義やプラグマティズム、さらにその心底に実存的な精神をも併せ持っていた。そうしたものが、一期一会のように人どうしの「出会いと触れ合い」を大切にする「構成的グループエンカウンター」を創始・発展させたと思われる。東京成徳大学や学園のことを気にかけていて、いつも「だれだれさんは、お元気ですか」と聞かれ、小生についても「アライさん、元気か」と気さくに声を掛けてもらったが、その声をもう聞くことができな

い。先生の二遺作『構成的グループエンカウンター』の理論と方法』『カウンセリングとともに生きるー存在への勇気』が、いずれも図書文化から刊行された。

合掌

平成29年度事業の概要

学園は、創立92年に当る平成29年度に、1,494人が卒業し、累計卒業者が12万3千人を超えました。また、平成30年4月に、1,813人の入学者を迎え、平成30年5月1日現在の在籍する学生・生徒・園児数は、前年比192人増の5,495人となりました。

今年度の学園の主要事業としては、①創立100年の将来像をまとめた「東京成徳ビジョン100」を具体化するため、第1期中期計画（平成29～31年度）の策定実施、②効率的で効果的な運営を目指した校地校舎の統廃合と遊休資産の売却推進、③コンプライアンス重視による内部監査室設置や法改正に対応した規程整備、などを行いました。

高等教育部門の主要事業としては、①平成30年度の実現に向けて、東京キャンパス（十条）に新校舎建築・人文学部の移転・応用心理学部福祉心理学科の募集停止・同学部臨床心理学科の定員増などを推進、②平成31年度の人文学部の国際学部への改組転換並びに平成32年度の応用心理学部健康・スポーツ心理学科の

移転の決定、③シラバスの第三者チェック・学修行動調査・授業の質を高めるFD・SDの実践・平成27～28年度自己点検評価書の作成等「教育の質向上」に向けた取り組みの強化、④各学部学科における教育課程の整備、⑤広告訴求効果の高い媒体へのソフト・スマートフォン対応のホームページ拡充等広報戦略の見直し、⑥短期大学における実践的教育の充実による特質ある教育の明確化、などを行いました。

中等教育の主要事業は、①グローバル人材の育成を目指した留学プログラムの見直しやネイティブ教員増員による英語教育の充実・柔軟な発想力・論理的思考を養うCTP (Critical Thinking Program) 授業の展開継続等教育改善の取組み、②進路指導充実のための外部講師による補習・スタディサプリの整備、などを行いました。

幼児教育部門の主要事業は、教職員の資質・指導力の向上を推進しました。

なお、詳しくは、学園ホームページをご覧ください。

学校法人東京成徳学園 平成29年度決算報告

資金収支計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで) (単位:千円)

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	3,971,958
手数料収入	129,823
寄付金収入	18,795
補助金収入	1,567,770
資産売却収入	397,745
付随事業・収益事業収入	11,776
受取利息・配当金収入	645
雑収入	165,909
借入金等収入	1,700,750
前受金収入	990,058
その他の収入	217,882
資金収入調整勘定	△1,047,708
前年度繰越支払資金	5,744,068
収入の部合計	13,869,471
支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	3,672,044
教育研究経費支出	975,219
管理経費支出	373,539
借入金等利息支出	12,099
借入金等返済支出	146,660
施設関係支出	1,785,007
設備関係支出	93,626
資産運用支出	150,000
その他の支出	284,278
資金支出調整勘定	△160,148
翌年度繰越支払資金	6,537,147
支出の部合計	13,869,471

事業活動収支計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで) (単位:千円)

事業活動収入の部		科 目	金 額
教育活動収入	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,971,958
		手数料	129,823
		寄付金	292
		経常費等補助金	1,553,136
		付随事業収入	11,776
		雑収入	172,036
		教育活動収入計	5,839,021
事業活動支出の部		科 目	金 額
教育活動支出	事業活動支出の部	人件費	3,677,655
		教育研究経費	1,741,160
		管理経費	455,523
		徴収不能額等	10,322
		教育活動支出計	5,884,660
教育活動収支差額			△45,639
外収支		科 目	金 額
教育活動	外収支	教育活動外収入計	645
		教育活動外支出計	12,099
教育活動外収支差額			△11,454
経常収支差額			△57,093
特別収支		科 目	金 額
特別収支	特別収支	特別収入計	361,336
		特別支出計	93,195
特別収支差額			268,141
基本金組入前当年度収支差額			211,048
基本金組入額合計			△194,894
当年度収支差額			16,154
前年度繰越収支差額			△9,776,849
基本金取崩額			211,109
翌年度繰越収支差額			△9,549,586
(参考)			
事業活動収入計			6,201,002
事業活動支出計			5,989,954

貸借対照表

(平成30年3月31日) (単位:千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	43,306,447
有形固定資産	40,287,191
特定資産	2,929,965
その他の固定資産	89,291
流動資産	6,856,770
資産の部合計	50,163,217
負債の部	
科 目	金 額
固定負債	4,482,475
流動負債	1,571,474
負債の部合計	6,053,949
純資産の部	
科 目	金 額
基本金	53,658,854
第1号基本金	52,952,069
第3号基本金	300,000
第4号基本金	423,000
繰越収支差額	△9,549,586
純資産の部合計	44,109,268
負債及び純資産の部合計	50,163,217

部門	ビジョン 100 重点目標	平成 30 年度主要事業の内容
大学	社会ニーズに対応した学部・学科編成	<ul style="list-style-type: none"> 入学生から開始の人文学部キャンパス移転・福祉心理学科募集停止 臨床心理学科定員増の円滑実施 平成 31 年度に人文学部を国際学部に変更するための検討・準備及び学生募集の積極推進 平成 32 年度入学生から開始の健康・スポーツ心理学科のキャンパス移転に向けた検討・準備
	教育の質向上 就業力や社会人基礎力育成での社会的評価の獲得	<ul style="list-style-type: none"> 教育の質向上のため、私立大学等改革総合支援事業の取組み強化 授業アンケートや学修調査の結果及びシラバスの検討を踏まえた授業の内容と方法の継続的見直し アクティブ・ラーニングを含めた授業方法の見直しと学生の多様性にマッチした授業方法の開発 キャリア教育などの基礎教育・インターンシップや行事企画等による就業力や社会人基礎力の育成強化
	大学の発展につながるグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流を担当する部署の新設、留学や外国人学生の受入れ態勢の整備 グローバルラウンジの設置・活用、国際学会の開催、教員の海外での研究発表を支援
短期大学	社会ニーズに対応した学部・学科編成	<ul style="list-style-type: none"> 18 歳人口の減少の中安定的に入学定員が確保できるよう、入試選抜の工夫・他大学との差別化の推進
	教育の質向上 就業力や社会人基礎力育成での社会的評価の獲得	<ul style="list-style-type: none"> 教育の質向上のため、教員の研究開発の促進や非常勤講師との連携強化 入学後早期に学修効果上がるよう入学前教育充実の継続実施 実習・就職の情報一元化システムを構築し、実習・就職支援の効果拡大と効率化の促進
	大学の発展につながるグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> 諸外国の幼児教育の実情や文化・国際的幼児教育学等を学修する授業の継続実施 多国籍幼児の保育に備え、附属幼稚園や高校と連携した外国人保護者による講演等の検討
高等学校・中学校	創造性とチャレンジ精神の涵養	<ul style="list-style-type: none"> 現在実施している建学の精神に基づく「自分を深める学習」を深化させ、主体的な学びの核に 高等部の「CTP」プログラム、中高一貫部の探求型「理科プロジェクト」の推進 学校行事等への生徒主体運営の一層実現により、豊かな発想及び自主性・創造性の涵養
	グローバル人材の育成での社会的評価の獲得	<ul style="list-style-type: none"> 英語スピーチコンテストの実施・DDR やグローバルラウンジの活用により英語四技能のレベルアップ 高等部の留学支援による年間留学生の増加・一貫部の中学 3 年次学期留学の義務化など留学の奨励 プロジェクター等視聴覚設備や校舎内の Wi-Fi 環境などの整備充実
	大学入試の変化等に伴う教育内容変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> 2020 年度からの大学入学者選抜改革に向けてプロジェクトを立ち上げて対応の検討 英語の共通テストに利用される外部検定について、選択して指導し成果を発揮
深谷高等学校中学校	創造性とチャレンジ精神の涵養	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の能力や学習意欲を引き出す授業展開を目指し先進校見学・互見授業・授業アンケート等の活用 机上の学習を実体験として生かす、スピーチやプレゼンのコンテスト・幼稚園実習等の継続実施 生徒の主体性を引き出すため、学校行事や部活動等における生徒が主役の運営への改善継続
	グローバル人材の育成での社会的評価の獲得	<ul style="list-style-type: none"> 英語によるレシテーション大会・スピーチやプレゼンのコンテスト等の実施とその内容の充実 外国人教員及び英語科教員の増員 放課後の英語検定等対策講座の実施、個別指導の徹底、同世代の外国人や留学生との交流
	大学入試の変化等に伴う教育内容変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> 2020 年度からの大学入学者選抜改革に向けてコースや学年の枠を超えて検討・分析 英語については、4 技能向上・資格取得に向けた指導の充実
幼稚園	幼児教育環境の変化に対応する幼児教育のプログラムの再構築	<ul style="list-style-type: none"> 平成 31 年度からの実施を目指し、運営形態、保育日数・時間を検討し、実施準備の推進 園舎建替えに向け計画の立案や調整の実施 グローバル化に対応し、楽しみながらできる英語体験や異文化に触れるイベントの実施
	大学、短期大学等との連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> 大学・短期大学との連携の深化、実習園としての機能の一層充実 優秀な学生採用のため、学園設置の大学・短期大学卒業予定者のうち本園就職希望者に奨学金の支給
法人本部		<ul style="list-style-type: none"> 東京成徳ビジョン 100 第 1 期中期事業計画（平成 29～31 年度）の推進と PDCA サイクルによるフォロー 時代のニーズに合わせた大学の学部学科再編の検討と推進、学部移転に伴う東京キャンパス（十条）の再整備 理事会・評議員会・部門合同会議等の活性化及び各種監査の充実による管理運営体制の強化 確固たる経営基盤の確立に向け、学生生徒募集の強化・補助金や寄附金の獲得拡大の一方、経費削減をきめ細かく実施 組織の見直し・権限の明確化・規程整備・人事制度の見直し・研修能力開発の強化など改革の推進

ひと

『活躍する卒業生』

東京成徳大学人文学部 （現応用心理学部）福祉心理学科

（平成25年3月卒業）

社会福祉法人武蔵野会練馬福祉園

児童発達支援事業 えとわる 勤務

橋爪 ななほさん

学科の志望動機と在学中の思い出

私は小学生の時から手話に興味があり、手話を使っている人を見てやってみたいなど思ったのがきっかけです。高校になって進学のことを考えた時、手話を勉強してそれを生かすのは広く福祉系かなと考え、社会福祉士の資格が取れる大学に絞りました。サイトでいろいろ調べ八千代のオープンキャンパスで先生のお話を伺った結果、志願



しました。手話サークルが人数も多く学内外でも広く活動しているうえ、少人数の学科だからゼミや資格取得で先生がきめ細かく指導していただけることに魅力を感じたからです。私は小学校から高校まで女子の一貫校でしたので友人も限定され、共学にわくわく感もありました。入学時のオリエンテーションですぐに皆と打ち解け、手話サークルでは他学科の方々との交流もでき新しい友人にも恵まれました。

私は高校生の時いろいろな施設でボランティアをして、私が本場に福祉系の分野よりは障害児をサポートする分野の方が自分には向いていると感じました。入学した時から社会福祉士の資格取得を目標にしていたのですが、「あなたの志望する障害児施設に就職するには保育士の資格もあつた方が有利だ」と先生に助言をいただき、2年生の終わりから準備を始めました。社会福祉士と保育士の2つの資格を在学中にどうしても取得しなかったので、3・4年時は勉強漬けで、自分との闘いでした。一人では乗りきれない時は、友達や先生に相談したり、サークルに行つて気分転換をしました。まわりの人に支えられたことに感謝しています。法律や制度に関するよりは、

実践の科目「ソーシャルワーカーとしての相談業務」という科目に一番興味がありません。授業では事例研究でグループ討議をし、いろいろな意見が聞けて参考になりました。

現在の仕事

私が勤務している練馬福祉園では、施設入所サービス・生活介護サービス・相談支援事業・児童発達支援事業を行っています。幸いなことに私は、希望していた児童発達支援事業の部門に最初から配属され、今年で6年目を迎えています。

この部門の定員は1日20人ですが登録は約60人です。対象は3つのクラスに分かれ、それぞれ時間を区切っています。具体的には、①親子クラス 週1回火曜日親子で通園（10時から正午まで）、②1日クラス 月水金曜日（10時から14時まで）、③午後クラス 毎日（15時から17時まで）です。対象のお子様は2歳から6歳（就学）ですが、早くて1歳半位でこられる方もいます。午後クラスは主に幼稚園や保育園に通っている園児が幼稚園・保育園終了後にこられます。軽度の発達障害・自閉症・ダウン症など一人ひとりの発達を考慮してクラスを分け課題を設定します。小グループ療育で

いろいろな遊びや経験を通じ、感覚・認知・コミュニケーション等心身の発達を促すことを特長としています。

また、社会での自立を目指して、集団生活が円滑にできるよう指導しても喧嘩になりそうになったら、トラブルになる前に先生が入り、適切なやりとりにつなげています。当園では感覚統合療法をメインにきちんとプログラムをつくり指導していますので日々の成長が顕著に見られます。子どもの特性が違うので、どう子どもの世界に入り込んでこちらの世界に引く張るか、自分とその子どもの関係を密にするかが大きな課題でありやりがいです。難聴のお子さんがあり、手話で会話をしているのですがもつと手話を活用していきたいと思っています。今後手話通訳士も目指していきたいと思っています。

後輩へのメッセージ

私は「やりきった」、「学部ではやり残したことはない」を心がけ、充実した楽しい学生生活を過ごして卒業しましたので、現在の仕事に集中して向き合っています。後輩の皆さんには、学生の時にしかできないこと、例えば友達との大切さ、仲間と過ごす時間を大事にしてほしいと思います。

進路 進学・就職

大学・短期大学の就職状況

大学・短期大学学生支援課

本学ならではの強みを発揮し高い進路決定率に

2017年度卒業生の進路状況は、下表の通り、多くの学部・学科で進路決定率が90%を上回り、また、就職決定率が100%近い結果となりました。これは、本学ならではの就職活動支援体制の特色である「学生任せの就職活動」ではなく、「教職員が協働しながら学生の就職活動を支援する」ことでこのような結果となったのです。このきめ細かな就職支援体制は、学生数が何千人というような大学では行うことが難しいからです。

就職を取り巻く環境について

就職を取り巻く環境は、前年より更によくなり（大学卒業者の求人倍率は前年の1.74倍から0.04ポイント上昇）、近年の底となった2012年時の求人倍率1.23倍から毎年上昇してきています。つまり、今の就職活動生は恵まれた環境の中で就職活動を送ることが出来ているのです。

恵まれた環境下での落とし穴

そのため、就職活動を「簡単・楽勝」と捉える学生が漸増し、自己分析・自己理解と企業研究を行うことなく就職活動を行い、求人に苦労している企業も採用のバーを下げざるをえないため、内定を出しているのです。

つまり、就職氷河期と呼ばれたバブル崩壊後の1993年～2005年及びリーマンショック後の2010年～2013年と比べて苦勞しないでも就職をすることが出来るのです。

正しいプロセスを経た就職活動を行わないと

学生が正しいプロセスを経た就職活動を行っていないこと、企業も学生を見る視点が粗くなっていることにより新たな問題が発生しつつあります。それは大卒就職者の3割が3年で辞めるといふ現実です。

もつとも、統計を取り始めた1987年以降、大卒3年目までの離職率は概ね25%～35%の間で推移。つまりバブル時代から離職率は大きく変わっていないということです。ただ、これまでと今後とは以下の2点において明らかに異なります。

- ①グローバル化
- ②急速なAIの浸透

従って、今後は、グローバル競争やAIに取って代わられない価値を提供しなければいけなくなっていくと思われれます。

さまざまな環境変化があるにしても、ファーストキャリア（大学を卒業して就職する最初の1社目）が重要なので、慎重に検討して企業選択をしてもらいたいということが、我々キャリア支援部門の思いです。

大学の主な就職先

学部	主な就職先（過去3年）
子ども学部	【教職・保育職】小学校、幼稚園、保育所、認定こども園、学童保育、児童館、施設等 【運輸】全日本空輸 【金融】りそなグループ 【製造】ケイジェイシー 【アパレル(子ども服ほか)】 ナルミヤ・インターナショナル/ユナイテッドアローズ/ F・O・インターナショナル/アーバンリサーチ/アダストリア 【卸小売】東京山勝/イトーヨーカ堂/ノジマ/キタムラ 【情報通信】パソニックESネットワークス 【サービス】メガロス/ニチイ学館/スポーツクラブNAS 【公務】西東京市職員
経営学部	【建設】日本住宅/川口土木建築工業 【製造】日本ロレアル/旭科学/丸井産業/サマンサタバサジャパンリミテッド 【ガス】日本瓦斯 【金融・保険】第一生命保険/足立成和信用金庫/埼玉縣信用金庫 【不動産】住友不動産販売/京急不動産 【運輸】ヤマト運輸/日本郵便/アートコーポレーション 【卸小売】コーセー化粧品販売/あさひ/渡辺パイプ/サミット/メーカーズシャツ 鎌倉/ヨークマート/ミキハウス/マリークワントコスメックス 【IT】トランスコスモス/ベネフィットジャパン 【サービス】スタジオアリス/東京美装興業/エイジック/セントラルサービスシステム 【公務】葛飾区役所
応用心理学部	【建設】東光電気工事/川口土木建築工業 【製造】HOYA/協同工芸社 【卸小売】赤ちゃん本舗/埼玉田中電機/SANEI 【金融】水戸信用金庫 【サービス】シティーパークアンドサービス/メディカルトラスト/日本教育クリエイト/ INSPA/スポーツクリエイト 【医療・福祉】サンリツ/タカサ/カスケード東京/ケイズグループ/桐和会グループ/ 踏青会/白報会グループ 【教育支援】フォアグリーン
人文学部	【建設】ティーエスケー 【卸小売】大竹建窓/岡部バルブ工業/マルエツ/サミット/青山商事/ITS/サン ベルクスホールディングス/ヨドバシカメラ 【不動産】ARS 【IT】日本企画 【サービス】エイジック/日本健康倶楽部/リラックス/メッセ・ゴー/ワールドエンター プライズ/UBASEInc/リアホールディングス 【福祉】清和会 【教育支援】市川日本語学校

学部ごとの進路状況

進路決定率（就職決定者+進学決定者+留学・専門学校入学者/卒業者）

	大学全体	子ども	経営	応用心理	人文	短期大学
2017年度	90.4%	93.7%	94.0%	87.4%	80.6%	96.8%
2016年度	89.2%	94.2%	87.0%	87.2%	74.4%	93.3%

就職決定率（就職決定者/就職希望者）

	大学全体	子ども	経営	応用心理	人文	短期大学
2017年度	97.7%	100.0%	97.9%	95.2%	95.8%	100.0%
2016年度	97.5%	99.2%	98.5%	95.8%	87.9%	100.0%

東京成徳大学高等学校

2017年度 主な合格実績 (浪人を含む延べ人数)

国公立大学 (準大学含む)	31名
京大 東北大 東京外国語大 筑波大 お茶の水女子大 横浜国立大 千葉大 埼玉大 東京学芸大 首都大学東京 電気通信大 信州大 など	
難関私立大学	176名
早稲田大 慶應義塾大 上智大 東京理科大 明治大 青山学院大 立教大 法政大 中央大 など	
併設大学・短大	合計 19名
東京成徳大 東京成徳短期大	

2017年度の卒業生486名のうち、進学者は406名でした。その内訳は、大学372名、短大6名、専門学校28名です。進学率は約84%で、大学進学率は全体の約77%と、若干下降する結果となりました。浪人の数は66名で、例年より少し多くなりました。また、卒業後の留学を志す者が6名いました。一昨年は9名でしたので、毎年一定数が希望していると言つてよいかもしれません。

(大学入試全般)

2018年度大学入試では、国公立大で学部・学科の新設・再編の動きが活発だったほか、私立大では都市部の大規模大を中心に、国の入学定

員超過抑制強化の影響による合格者数減少の動きがみられました。また、高大接続改革が進む中、多面的評価にむけた入試の変更や英語外部試験の活用拡大といった動き、文高理低の継続という傾向も見られました。

〈国立大学について〉

センター試験が落ち着いた結果だったので、全体の志願者にも大きな変動はなく、前年並みの出願数となりました。学部系等では、文系(法・政治・経済・経営・商)学部と工学部で志願者が増加し、強気の出願が見られました。その結果、文系は難化傾向となり、本校の国公立文系生徒たちの苦戦は続きました。結果として、京大・東京外国語大・お茶の水女子大など国公立現役合格者31名のうち、文系が13名、理系が18名と、理系が多い結果となりました。

〈私立大学について〉

国は都市部の私立大に学生が集中するのを抑えるため、定員規模の大きい私立大を中心に適切な定員管理を求めています。一定の定員超過率を超えた大学は、国からの補助金を不交付とする、学部等の新設を認めないなどといったルールがありますが、これらの基準が段階的に厳格化されてきました。これに対して、私立大では都市部の大規模大を中心に、合格者数

を減らして入学者数を抑えようとする動きが続いています。そのため、私立大では今春も厳しい入試となりました。また、今春は前年より正規合格者数を減らして、補欠候補者からの入学許可や追加合格で入学者数を調整する動きがみられました。3月下旬になつても追加合格が出るといった大学が例年より目立ちました。

そのような中、本校の生徒は受験件数を増やして合格の可能性を高める対策をとりました。早慶上理は32名、GMARCHは14名、文系難関(成蹊・成城・武蔵・明治学院・國學院・獨協)と理系難関(北里・芝浦工業・東邦・東京農業・東京都立・東京電機)合計は144名、日東駒専137名となりました。定員の厳格化や卒業者数が減つたことによる合格数の減少もありますが、全体的に健闘しました。

東京成徳大学深谷高等学校

2017年度の深谷校卒業生数229名の進路状況は、大学125名、短大30名、専門学校56名、就職6名、浪人12名でした。大学、短大への進学者数は昨年並みでしたが、専門学校、浪人がやや増加した結果となりました。

進学コースでは推薦入試やAO入試を利用する生徒が多く、180人中89

人、約50%の生徒が指定校・公募推薦入試・AO入試で大学へ進学しました。推薦入試の実施大学数は増加傾向にあることから今後も利用する生徒が増えると考えられます。

進学選抜・特進・特進選抜コースは、一般入試が中心となるコースですが、安志向や地元志向がやや強くみられました。また、行政の「大学入学生員管理の厳格化」によつて、合格できる大学のランクが以前より下がる傾向もみられました。2019年度以降も厳しさは続くことからも、講習や個別学習指導に加え、スタディーサポートやスタディサプリなどの学習コンテンツも活用しながら、実力向上を目指す学習指導を進め、自信を持って挑戦できる大学数を増やす出願指導を行っていきます。

2017年度主な合格実績 (浪人を含む延べ人数)

国公立大学	5名
群馬大学 高崎経済大学 北見工業大学 公立鳥取環境大学	
私立大学	186名
青山学院大学 獨協大学 日本大学 東洋大学 東海大学 亜細亜大学 国士舘大学 など	
併設大学・短大	2名
東京成徳大学 東京成徳短期大	

大学院

研究科の取組み

心理学研究科長 石隈利紀
心理学研究科では、21名の新入生（19名修士課程、2名博士課程）を迎えて、活発に新年度を始めております。また本年度は5名の新しい教員が赴任しました。江口めぐみ准教授、中谷隆子助教、徳山美知子特任教授、香取早苗特任准教授、山内志保特任助教です。教員チームも3人増員となり、活性化してパワーアップしています。

修士課程では、いよいよ、心理職の国家資格、公認心理師の養成カリキュラムが始まりました。6月には日本公認心理師養成機関連盟が立ち上がり、本学も参加しています。本学の研究科では、公認心理師・臨床心理士はもちろん、学校心理士も取得できるようにカリキュラムを組んでおります。また実習先も、医療保健分野、教育分野だけでなく、福祉分野も開拓して、充実したネットワークをもっています。特筆すべきことは、実習先には修了生が活躍している機関もあり、心強いことです。そして心理教育相談センターでは本学園の高等学校や幼稚園等と連携して、よりよい援助サービス

めざしています。

さらに今年度は、大学院生の修了後の就職についてのガイダンスも1年次から積極的に始めております。厚生労働省、法務省などの国家公務員、東京都、千葉県などの地方公務員についても情報提供するとともに、受験対策も支援しております。最後に今年の9月に第1回の公認心理師の国家試験がありますが、その対策講座も充実させております。

国際学校心理学会（ISPA）開催

7月25日（水）より28日（土）、東京成徳大学グローバルセンター（6号館）と楷の木ホール（3号館）において、国際学校心理学会東京大会が開催されます。木内秀樹理事長、新井邦二郎学長をはじめ、大学の教職員みなさんのご尽力で、着々と準備を進めております。世界40か国以上から、第一線の学校心理学者やサイコロジストが、総計1100名以上集まります。国内の小学校、中学校、高校、特別支援学校の先生方やスクールカウンセラーも参加します。100名以上のボランティア（高校生、大学生・大学院生、修了生）が協力して、東京成徳学園のグローバルマインド、おもてなしの心を發揮します。

応用心理学部

臨床心理学科

「社会調査士」の資格取得

准教授 福山裕宣

臨床心理学科では、さまざまな心理学関連の科目とともに、社会調査に関連する科目も履修できます。社会調査では、調査、実験、観察に加え、文章や映像等の内容分析、既に集計された統計データの利用など各種の方法を駆使して、人々の意識や行動などの実態をとらえていきますが、本学科では社会調査関連の7科目を履修し、大学卒業時に社会調査協会に申請することにより、社会調査士資格が取得可能です。

社会調査士とは、インタビュー調査やアンケート調査の方法を学び、統計や世論調査の結果を批判的に検討するなど、社会調査の現場で必要となる能力をもった「社会調査の専門家」のことです。調査企画から報告書作成までの社会調査の全過程を学習し、基本的な調査方法や分析手法の妥当性、またその問題点を指摘することができる者とされています。

これらの社会調査士資格制度は、学術団体である日本社会学会、日本教育社会学会、そして日本行動計量

学会の三つの学会が協力して、大学における社会調査教育の水準向上とこの分野における優れた人材育成をめざして2003年に発足しました。2008年には「一般社団法人社会調査協会」が設立され、協会の運営と活動は、これら3学会を中心とする日本における社会調査の学術研究者集団によって担われています。現在、約三百の大学・学部などの機関が参加しています。

（参考：http://www.jasr.or.jp/students/index.html）
学部生は日々の授業や実習を通して、社会や市場から必要な情報を集める「情報収集力」、情報を正しく読み解く「分析力」、社会人として行政や企業で積極的に社会貢献する「行動力」を身につけるべく、勉学に励んでいます。

また、「社会調査士（キャンディ）」は、3年生以上の学生を対象に、社会調査士資格を取得予定であることを証明する資格です。

社会調査士関連科目は、真面目に取り組みさえすれば、資格取得が可能です。さらに、問題の発見から分析に至るまでの一連の調査活動の証明として、就職活動においても自信を持ってPRしてもらえると幸いです。引き続き、資格取得を奨励していききたいと思います。

【福祉心理学科】

卒業生をロールモデルに

学科長 中山哲志

◎卒業生の活躍に感動！

今回の広報では、卒業生の特集で福祉心理学科2013年度卒業生の橋爪ななほさんが紹介されました。卒業生の活躍を知ることが、在学生にとっても、また学科の教員にとってもたいへん嬉しいことであり、誇らしいものです。

去る5月31日、NHKのニュースウォッチ9に、2期生の夏原博史さんが登場しました。新聞等で取り上げられ話題になっている若き歌人萩原信一郎さんの歌集「滑走路」に関する報道で、高校時代のいじめの後遺症に苦しんだ後残念ながら自死した若者に精神保健福祉士として寄り添ってこられた経験を語られていました。内容が心に残る特集だったので、翌日、夏原さんの話した言葉や活躍の様子を在学生に伝えました。

夏原さんが何期生かを調べるのに大学にある卒業アルバムが役立ちました。そこには、約25年前の大学の様子や若者の姿があり、福祉心理学科は、開学から今年で26年目を迎えたことを考えると、感慨深いものを感じさせられました。

◎ゆうあいピックに参加

千葉市にある青葉の森で開催された知的障害者のスポーツ大会に、今年も2年生がボランティアとして参加しました。誘導などの係活動を通じて、コミュニケーションのとり方や、情報の伝え方を学びました。座学では得られない気づきがあり、また、選手の必死に走る姿に感動しました。暑い日でしたが、卒業生の働く姿を間近に見ることもでき、充実した一日となりました。



◎卒論デザイン発表会

卒論デザイン発表会が5月にあり、これまでの学修や体験等を踏まえた問題意識が熱く語られました。それらは「福祉心理学」に関わる利用者理解、利用者支援につながる問題意識であり、卒論がどのようなとめられるのが今から楽しみです。

【健康・スポーツ心理学科】

先輩による新入生の学修支援

学科長 木幡日出男

今年度から先輩による新入生の学修支援(SA: Student Assistant)の取り組みが開始されました。これは、1年生に対する上級生の援助的関わりを増やし、きめ細やかな学生支援体制を整えることで、新入生に安心感を与え、学修上の課題の解決を促し、退学者、留年者の減少を目指すことを主な目的としています。

具体的には、少人数(9~10名)授業科目である前期「スタディスキル」および後期「基礎ゼミ」の各クラスに上級生1名を配置し、以下の役割を担います。

- ・ 毎回授業に出席し教員の補助を行う。
- ・ 授業の予習や復習、課題などに関して、学生への助言、アドバイスをを行う。
- ・ 別の授業も含めて、レポートの書き方や履修などについて相談に乗る。
- ・ イベント的授業の際に、全SAが中心になって、準備、指導を行う。
- ・ このSAの継続的な取り組みから、以下のことが期待されます。
 - ・ 学業不振者のためのきめ細やかなサポートが可能になる。
 - ・ 就学上の困難についての早期の情

報収集が可能になる。

- ・ 結果的に授業についていけない等の理由による中途退学者を減らす。
- ・ 新入生にとっては、相談のためのリソースが増えることにより、学生生活における安心感を高める。
- ・ 担当するSAにとっては、支援することが自分自身の成長のきっかけになる。

このような新しい取り組みが、新入生の大学生活を充実させ、学生の学修意欲を喚起促進し、学生の成長につながるように教員と学生とで取り組んでいきます。今後とも皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。



子ども学部

子ども学とは(リレー掲載②)
保育士の離職を考える

助教 木村 祐子

家族臨床演習では、学生に自分のライフプランを立ててもらっている。多くの学生が、卒業→就職→結婚→出産→復帰、もしくは退職の順で人生を設計する。これらの順番が変わることは、学生にとつて、想定外のことが多い。日本の単身世帯の増加や国際比較の観点からみても学生が思い描く未来は、当たり前のことではない。さらに、職業観について議論してもらおうと「男は外で働き、女は家庭を守る」といった古い考え方は反対だ」と言いながら、「子どもが生まれたら、仕事は辞めて子育てに専念したい」と語る学生が多いことに驚かされる。

子ども学部では、毎年多くの卒業生が保育所や幼稚園に就職する。なかでも保育所に就職する学生は全体の約4割と多く、保育現場の需要と学生の就職希望がマッチングしている。たくさんの実習をこなし、4年間の努力の末に希望通り就職することは、喜ばしいことである。一方で、日本の保育士の離職率は10.3%(厚生労働省「社会福祉施設等

調査」2013年)であり、経験年数が少ないほど離職につながっている。「東京都保育士実態調査報告書」(2014年)によれば、退職理由は、「妊娠・出産」、「給料が安い」、「職場の人間関係」の順で挙げられている。就職後も心配はつきないのである。

厚生労働省は待機児童問題の対策として、保育士の人材を確保するために、勤続年数や経験年数に応じた処遇改善(給与改善、離職継続支援研修の実施など)に取り組んでいる。こうした改善策は、保育士の専門性や社会的地位を向上させるものであり、期待している。しかし、離職の原因は保育士の処遇のみにあるわけではなさそうである。前述したように、保育士の離職の背景には、保育者が抱く結婚観、職業観、性別役割意識などの社会規範の影響がある。退職理由のトップが「妊娠・出産」であり、再就業の際には正規職員ではなく非常勤を希望する者が多いという事実も気になる。

社会規範や価値観は容易に変えられるものではないが、保育者のやる気や努力だけでは乗り越えられない社会的な側面があることを、さまざまな場面を通して、伝えていかなければならないと日々感じている。

経営学部

経営学部における会計学の学び

教授 倉持 俊夫

会計学は経営戦略、マーケティングとともに経営学部の中核をなす学びの一つです。一口に会計学といっても様々な学びがあります。1年次では「簿記原理」と「会計学入門」が必修科目として、「上級簿記」と「原価計算」が選択科目として配当されています。簿記は会社の成績表である財務諸表の作り方の学び、会計学入門は出来上がった財務諸表の読み方の学びです。この2つはいわば車の両輪みたいなもので、それぞれの基礎を学ぶことは経営学の基本です。

職種問わず会計の知識が必要になってくることを意味します。すなわち会計はビジネスパーソンの基本スキルなのです。ただ英語が流暢に話せるより、何を英語で伝えるかが大事であるように、会計も簿記や財務諸表の理解に加え、様々な財務数値から何を読み取るかが大事です。そのため会計の学びで大切なことは会計だけを切り離して学ぶのではなく、経営戦略やマーケティングと一体として学ぶことです。

2年次になると、「経営管理と会計」、「経営分析」、「財務会計」、「監査論」、さらに3・4年次になると、「管理会計論」、「ファイナンス」、「国際会計」、などが配当され、一段と専門化した内容になってきます。頻発する大企業の不正会計、国際会計基準の導入、増加するM&Aなど、会計を取り巻く環境は近年大きく変化しており、こうした専門的な学びの重要性は一段と増えています。

また会計のもう一つの学びの特徴は資格や試験が充実していることです。代表的な試験として日商簿記検定試験があります。試験は3級から最難関の1級まであり、年に3回実施されます。会計学に興味のある学生には受験を薦めており、既に多くの学生が取得しています。試験に合格することは就活で有利に働くことはもちろん、それ以上に学生の大きな自信につながっています。さらに国家試験として「公認会計士」や「税理士」などもあり、会計そのものを職業とする道もあります。

会計はよく英語、ITとともにビジネスパーソンの三種の神器と言われます。これは社会にでると、業種・

会計学はともすると専門的な学びのように思いますが、社会人に求められる基本スキルです。大学時代にこの基本スキルをしっかりと学んでおくことはとても重要です。

人文学部

日本伝統文化学科

八千代市立郷土博物館と連携

「高津姫伝説と八千代」展で講演

教授 青柳隆志

日本伝統文化学科は、博物館学芸員課程を有する関係で、地元博物館である八千代市立郷土博物館と、2003年以来、長年にわたる連携活動を行ってきました。年一回の雅楽体験講座と装束体験講座は、地元ではすっかり定着した感があり、多くのリピーターが参加してくださいます。

本年は、第一回企画展「高津姫伝説と八千代」の実施にあたり、去る5月27日、「藤原時平とその伝説」と題する講演を行いました。菅原道真を大宰府に追いやった悪人としての印象が強い時平ですが、その娘「高津姫」が当地八千代に流寓（りゆううぐう）し、その守り本尊がまつられて、今の高津比咩（たかつひめ）神社ならびに観音寺になったという伝説が残っており、周辺には「時平神社」が四社あり、さらに「二宮神社」（船橋）、「菊田神社」（習志野）も時平を祭神とするなど、不思議なゆかりが感じられます。

当日は時平とその一族の生涯と逸話、そして道真の怨霊によるとされる悲惨な運命を辿り、なぜこの八千代の地に、このような伝説が生まれたのかを想像するよすがとなるよう、話をさせていただきました。70名ほどの方が熱心に聞いてくださり、郷土の伝説への関心の深さを感じました。また、時平と高津姫に因んで、文官束帯と十二単の着装

を見ていただき、午後には着付体験もしていただきました。地元八千代との強い連携を実感した一日となりました。



国際言語文化学科
国際交流の取組み

学科長 周建中

国際言語文化学科は、今年度入学生から、東京キャンパス（十条）に移転することになりましたが、定員を上回る54名が入学しました。また、専任教員も新たに1名が増えて10名となり、新体制が無事スタートいたしました。

国際言語文化学科は、本学の「共生とコミュニケーション」の教育理念に基づいて、学生に多文化と国際政治経済などに関する幅広い知識と経験を積み、視野を広げてもらうための方法の一つとして、新入生を対象に海外研修を実施してきました。これまでにシンガポール、香港、韓国、台湾、中国などの国と地域で行っています。

今年度の新入生海外研修は、5月24日（木）～27日（日）に韓国ソウルで実施しました。期間中、韓国の嘉泉（ガチョン）大学校を訪問して、本学の概要、日本文化及び日本で流行している韓国文化を紹介するプレゼンテーションなどをおして先方の学生との交流を行いました。その後、朝鮮王朝の王宮「京福宮」などを見学して無事帰国しました。

学生の留学については、現在中国への1名、韓国へ6名が留学中の他、オーストラリアへのインターンシップ付き半期留学に2名が留学中です。また、韓国へ後期からインターンシップ付き留学で1名、交換留学で6名が留学する予定です。さらに、今年度も台湾の開南大学への夏期語学・台湾文化研修を実施する予定です。



嘉泉大学校学生との交流会

短期大学

新入生学外研修旅行

幼児教育科一学年主任馬場康宏

今年度、幼児教育科は194名(女子192名、男子2名)の新入生を迎え、4月下旬、新入生対象の行事である学外研修旅行を実施しました。今年度は、箱根・小田原・鎌倉方面での二泊二日の研修です。二日間天候にも恵まれ、充実した研修となりました。

幼児教育科は、学則にも規定されているとおり「社会のニーズに応えられる資質の高い幼稚園教諭、及び保育士の養成」を科の目的としており、毎年ほぼ全員の卒業生が、幼稚園や保育所などへ就職します。このような科の特徴を踏まえ、次の4点

を研修目的として掲げての実施です。

- 1 学生同士の親睦を図り教員とのコミュニケーションを深めるとともに、団体行動を通して社会人としてのマナーを身に付ける。
- 2 芸術作品や児童文化および歴史的な文化財に触れ、保育者としての教養を高める。
- 3 豊かな自然に触れ、環境を感じることで感性を育てる。
- 4 食文化に触れ、体験を通して保育における食育についての意識向上を図る。

この研修は1年生の卒業必修科目「幼児教育基礎演習」の一環として行われています。学生には授業の



星の王子さまミュージアム



テーブルマナー講習



クラス別研修

中で事前指導を行い、研修目的の理解や、二年後には子どもを引率する立場になることへの自覚を促しています。

二日間の研修内容も盛りだくさんです。

まず、一日目の午後は箱根の彫刻の森美術館、星の王子さまミュージアムの見学をし、豊かな自然の中で芸術作品や児童文化に触れました。夕方、宿泊先であるヒルトン小田原に到着後、すぐに運動着に着替えて広々としたアリーナに集合し、楽しく体を動かしたり、クラス対抗ドッジボールを行ってクラスメイトとの親睦を深めました。

さらに研修は続きます。運動後、今度はスーツ等に着替えて、テー

ブルマナー講習を受けました。講師の話聞きながらテーブルごとに食事を楽しみました。一日目の最後は、担任の指導によるクラス別研修です。クラスごとにレクリエーションをしたり、改めて自己紹介をしたりして相互理解を深めました。

二日目の午前は、鎌倉でのグループ別行動です。事前に相談して決めたプランに沿って、寺社への参拝や小町通りの散策などをしました。

新生活をスタートさせたばかりの学生に、これから友人となる者や教員と、楽しい雰囲気の中で関係を築けるようなきっかけを提供することは、今後の学生生活をより適応的に過ごしていくためにとっても大きな意義をもちます。



鶴岡八幡宮(鎌倉)

中高一貫部

理科・思考力探究型授業

中高一貫部の理科では、TSP（東京成徳サイエンスプロジェクト）という名のもと、通常の授業の枠を越えて、いろいろな試みを実施してきています。本年度からは、高校1年の生徒全員を対象にして、「理科・思考力探究型授業（STR/サイエンティフィック・シンキング・リサーチ）」を始めました。

近年、科学の進歩は目覚しく科学的知識は莫大に膨れ上がり、その全てを網羅し覚え込もうとすることは不可能になってきています。知識偏重の教育から、思考力・生徒の主体性を重視した教育への変革の時代となってきました。また、複雑化した現代の社会



において、明確な答え（絶対解）のない課題に直面することも多く、自ら考えて表現するとともに、他者の意見も

聞き入れ理解し、協働学習を通じて答え（納得解）を導いていくことが求められます。

このような社会の状況を踏まえ、「理科・思考力探究型授業（STR）」においては、担当する理科の各教員が、テーマを提示し、それに対して、生徒達が主体的に考え、様々な手段で調査し、結論を導き出し、最後はプレゼンテーションするという行っている。例えば、「記憶と五感の刺激との関係」、「遺伝の謎を解く」、「各種の物理現象を説明する」、「エネルギー問題を考える」等をテーマとして、1ヶ月あまりの期間、継続して課題解決に取り組んできました。主体的な行動を取る時間が多く、アクティブに活動する生徒の姿が目につきました。これから先も、各自が別のテーマに



ついて取り組みます。極端的に参与的に参加し、将来役に立つ力を身に付けて欲しいと思っております。

高等部

高校1年戸隠校外学習

2003年より「自分を深める学習」の一環として戸隠校外学習を実施しています。目的は、「自分」が全てのもとの繋がって存在しているということ。「体感」すること。特に「自然」と「自分」は切り離せない存在であること、自分は宇宙に存在する「星のかけら」であることを、知的レベルではなく五感を通して感じる事が最大の目的です。そのため夜の暗闇にシートを敷いて腰を下ろし、30分の「沈黙」の時間を作って夜空を見上げ、周囲の空気の感触、音、匂いに五感を集中させる「暗闇体験」というプログラムを用意しています。このプログラムで生徒たちは不思議と自分を見つめ、たくさんの思い出に触れま

す。そして自分の生き方へと想いを巡らすようです。そして翌日はハイキング。圧倒的な自然の魅力に吸い込まれるようになる場面もあるようです。この二つのプログラムは「宇宙・自然」と「自分」との会話を可能にさせるプログラムと言えます。さらに新しいプログラムとして「クラスの集い」を設けました。これはクラスのみんなで「人生のテ

マ」を定め、意見交換、議論を進めていきます。暗闇に火を灯し、円座になって囲み話し合っています。普段は照れくさくて自分を開示できませんが、自然に囲まれ、暗闇も味方して、素直に自分を表現できる生徒が数多くみられました。自分を深める学習の特徴は、明確な答えが存在しにくいことです。それでも、「自然」が力を貸してくれているかのように、生徒たちは自分の想いを語りクラスメイトはそれを素直に受け入れてくれるように思えました。

今年も2泊3日、3班編成で7月27日〜31日に行われます。天候に恵まれれば素晴らしい星空に感動することでしょう。大きな「気づき」が生まれればいいですね。





関東大会準決勝【対帝京第三（山梨県代表）】前半
右サイドをドリブルで突破する竹間世和君（3年生）

深谷高等学校

3大会を振り返って

サッカー部監督 為谷 洋介

私たちサッカー部は「凡事徹底」
「当たり前」のことを人並み以上に
くをスローガンに部員127名で日々
活動しております。

新チームは12月にスタートし、1
月から行われた埼玉県高校サッ
カー新人大会（以下「新人戦」とい
う。）では厳しい戦いを制しながら
初めて決勝戦へと駒を進めました。
相手は強豪・西武台高校。先制され
ましたが後半に追いつき、延長戦で
セットプレーから決勝点をもぎ
取って優勝することができました。
逆境を力に変えられた点にチーム

の成長を感じました。

春休みには更なるチーム力の向
上を狙い、鹿児島へ遠征しました。

Jリーグ下部組織のレノファ山口
U-18にもPK戦で勝つなど、収
穫の多い遠征となりました。

4月には関東高等学校サッカー大
会（以下「関東大会」という。）埼
玉県予選に挑みました。新人戦優勝
校として出場することはこれまでに
ない難しさや怖さがありました。が、
接戦をものしながら決勝戦へ。「県
第1代表として関東大会へ」を合言
葉に戦い、1対0で勝利。埼玉二冠
が決まった瞬間でした。関東大会は
古河一高（茨城）に3対1、帝京三
高（山梨）にPK戦でそれぞれ勝
利を収めました。選手たちの順応性
やメンタル面の強さには目をみはる
ものがありました。決勝の相手は前
年度日本一の前橋育英高校でした
が、格の違いを見せつけられた試合
となりました。結果こそ1対2の惜
敗ですが、力には大きな差があり、
日本一を経験しているチームの質の
違いを肌で感じました。

3大会を通じてたくさん経験
をさせていただきました。この経験
を生かしてこれからもチーム一丸
となつて戦っていきます。今後とも
応援をよろしく願います。

深谷中学校 高校一貫コース

今年度のプレゼンコンテスト

昨年度まで3月に実施していたプ
レゼンコンテストを、今年度は4月
に実施しました。回を重ねて5回目
になります。2年生が「自分の魅力」、
3年生が「学校の魅力」、4年生が「日
本の魅力」と「ニュージラランド学
期留学報告」、5・6年生が自由テー
マです。当日は6年生からの発表で
した。その多くは日本の文化をいか
に海外に伝えるかをコンセプトに、
漫画や食べ物や題材にしての発表で
した。勿論、英語での発表です。発
音にも注意を払い、「さすが6年生」
と思わせる説得力のある発表でし



6年生の発表のようす

た。5年生は自分の住む市町村等を
題材にした、こちらも英語での発表
でしたが、6年生に負けない堂々と
したものでした。4年生は学期留学
参加者が留学を通して感じたこと・
得たことを発表してくれました。日
本の魅力についての発表は、
2020年の東京オリンピック時
に来日する観光客を意識した内容の
発表でした。また、3年生は学校行
事や普段の授業を中心に、本校の魅
力を十分に伝える発表をし、2年生
は自己史の作成を踏まえ、いかに自
分の魅力を人に伝えるかということ
を考えながらそれぞれ発表してくれ
ました。どの発表も聞き手を意識し
ながらの良い発表でした。



3年生の発表のようす

幼稚園

土曜保育参観（年長組）

6月2日、好天に恵まれた中、年長組の土曜保育参観が行われました。

当日は、子ども達が、おとうさんやおかあさんと一緒に大好きなサンドイッチ作りに挑戦しました。自分で材料を選んで面白い物に出かけ、レタス、ハム、卵など、どうしたらおいしいサンドイッチが作れるか、親子で考えて作りました。

親子で協力して作ったオリジナルサンドイッチの味は、大変おいしくてたくさん頂き、笑顔が一杯でした。子ども達が、立派な体を作るために、いろいろな食事を好き嫌いなくバランスよく頂くことが大切で



あることを知ってもらうなど、保護者の皆様と協力して一層食育に取り組んでいきたいと思えます。

日曜保育参観（年少・年中組）

6月3日も晴天となり、年少・年中組の日曜保育参観が行われました。

幼稚園に隣接する学園の中高一貫校人工芝グラウンドで澄みきつた青空の下、おとうさんやおかあさんと一緒に、体操から始まり、手話の歌をうたったり、またゲームをしたりして楽しみました。その後各組ごと、保育室に戻り年中組は、小麦粉粘土製作、年少組は、ロケットやパラシュートなど、親子で動くおもちや作りをし、たくさん笑顔につつまれた参観日となりました。



平成30年度学園後援会総会開催

6月16日、平成30年度の学園後援会総会が、新装なった十条台キャンパスにおいて、お披露目を兼ね1号館で開かれました。総会に先立ちこの4月にオープンした6号館（グローバルセンター）を中心に各施設を見学。学生がキャンパスライフを楽しめるように細やかな配慮がなされた各施設には皆さんが感嘆されていました。

総会は小黒副会長の司会で始まり、藪崎後援会長の挨拶の後、木内秀樹理事長から学園の現況説明がなされました。高等教育部門が十条台に応用心理学部・人文学部を移し、本年度の入試では高等教育の全部門が定員を満たし、801名の新入生を迎えたこと、来年は人文学部を改組する国際学部も十条台でスタートするなど、高等教育部門を十条台に集約し充実するとの方針が述べられました。議事に入り、5つの議案について川北副会長・染谷副会長・保永会計などが説明し満場一致で可決され、遠藤副会長の閉会の辞で滞りなく終了しました。

続いて小林明恵人文学部長が、長編小説『源氏物語』について、「オトナ読み源氏物語」と題して講演。

「オトナ」ならではの読み方として取り上げたのは、光源氏が帝の子だということを見せつける場面や、物語の中で光源氏が上りつめた准太上天皇という架空の地位が、描かれた9年後に歴史上で実現したという、物語が歴史に先行した設定などである。作者は、主人公の光源氏を通して、恋愛、不義、栄光と政治的欲望のための権力闘争など、平安時代の貴族社会を描いています。ユーモアを交えわかり易い講演にもっと時間があればとは皆さんの声。食事の後は恒例となつている出席会員の近況報告、「親子が成徳だから孫もぜひ成徳に入れたい」など学園を愛してくださる方々のなごやかなお話が続きました。





快挙！ 関東高等学校サッカー大会埼玉県予選で優勝した深谷高等学校サッカー部

東京成徳大学高等学校

- 女子バスケットボール部
 - 全国高等学校総合体育大会東京都予選…………… 第3位（全国総体出場）
- ラクロス部
 - 全国中学校高等学校女子ラクロス選手権大会…………… 準優勝
- 陸上部
 - 南関東高校総体陸上 男子やり投…………… 第4位（全国総体出場）
- バトントワリング部
 - 関東バトントワリングコンテスト…………… ソロトワール 第2位
 トゥーバトン 第4位
 ペ ア 第2位、第3位

東京成徳大学深谷高等学校

- サッカー部
 - 県民総合体育大会兼高校サッカー新人大会…………… 優勝（初）
 - 関東高等学校サッカー大会埼玉県予選…………… 優勝（初）
 - 関東高等学校サッカー大会…………… 準優勝（初）
- パワーリフティング部
 - ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会…………… 女子52kg級 優勝
 女子57kg級 優勝
 女子63kg級 第2位
 - 世界クラシックパワーリフティング選手権大会（カナダ）…………… 女子52kg級 第7位
 女子57kg級 第6位
- 弓道部
 - 全国私立高等学校弓道大会女子トーナメント戦…………… 優勝

東京成徳大学中学校

- バスケットボール
 - 東京都中学校バスケットボール春季大会…………… 第3位

OPEN CAMPUS 2018

お気軽に一度東京成徳のキャンパスへお越しください。
オープンキャンパス、学校説明会、入試日程などはホームページで詳細を。



高等部校舎

学校法人 東京成徳学園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp	
東京成徳大学大学院	http://www.tsu.ac.jp/gra	電話 03-5948-5161
心理・教育相談センター	http://www.tsu.ac.jp/center/tabid/210/Default.aspx	電話 03-5948-5162
東京成徳大学	http://www.tsu.ac.jp	
東京キャンパス (十条)		電話 03-3908-4530
千葉キャンパス (八千代)		電話 047-488-7111
東京成徳短期大学	http://www.tsu.ac.jp	電話 03-3908-4530
東京成徳大学中学校・高等学校		
中高一貫部	http://www.tokyoseitoku.jp/js	電話 03-3911-2786
高等部	http://www.tokyoseitoku.jp/hs	電話 03-3911-5196
東京成徳大学深谷中学・高等学校		
中学校	http://www.tsfj.jp	電話 048-573-1784
高等学校	http://www.tsfh.jp	電話 048-571-1303
東京成徳短期大学附属幼稚園	http://www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind	電話 03-3911-6337
東京成徳スイミングスクール		電話 03-3914-2383